



活動内容のご紹介

～ 令和7年12月11日（木）大阪市立長吉西中学校～



長吉西中出身の社員2名も登壇！

今回は大和川の近くに位置する大阪市立長吉西中学校（大阪市平野区）において12月11日（木）に開催された「平野区を持続可能なまちにするための開発」をテーマとした講話に、N-EXPOが講師として参加した活動についてお伝えします。

N-EXPO活動では今まで、水害再現ジオラマ模型を用いた防災ならびに建設コンサルタントを話の中心にした教育・講話を少人数に対して何回も繰り返す形でお届けしてきました。しかし、今回は体育館に中学2年生5クラス約180名全員に集まってもらって、2時間（2コマ）続けてお話しする形となりました。

講話では「持続可能とは？」という問題提起から始めて、平野区が持続可能であるためには平野区のことだけを考えては不十分で日本や世界とのつながりも考えることが重要という認識のもと、環境面、社会面、経済面の話を交えながら、特に持続可能なまちの前提になる防災面にウェイトを置き、過去から現在までのデータを提示しながら持続可能性についてできるだけ平易にお話ししました。また途中に、防災の重要性を認識してもらえるように、河川氾濫再現VRアプリ「オソレル」で、街で洪水が発生した場合の危険性を代表者5名に疑似体験してもらいました。

講話中は、聞き慣れない単語やデータが多く出てくる中でも、生徒の皆さんが真剣に耳を傾けている様子が印象的でした。

さらに、講話後に実施したアンケートでは下記のような感想を頂きました！

- 平野区を持続可能なまちにするための防災面での対策について聞いて、沢山の人が日本や世界を変えようとしていることを知り、嬉しかった。総合的読解力の授業のための大きなヒントになった😊
- 話を聞く前まではあまりイメージがわかなかったかが話を聞いて少し持続可能な街にするためのイメージがわいた😊

このような感想を見ると、生徒の皆さんが講話を通じて「持続可能なまちづくり」への理解を深め、平野区をよりよい未来へ繋げるための自分たちなりのアイデアやヒントを見つけてもらえたかなと思います。

N-EXPOは今後も、防災を中心とした出前講座活動を積極的に実施して参ります！

今回の企業講話は、弊社が登録している[OEN \(Osaka city Education Network\)](https://www.osaka-city.ednet.or.jp/) を通じてお声がけ頂きました。ありがとうございました。



オソレル5台をスクリーンに同時に投影し、クラス対抗戦を実施！大いに盛り上がりました😊

